

一年は早いもの・・・(3学期終業式・校長挨拶)



↑ 3学期終業式を終えて・・・

3学期終業式(3月20日(月)) 校長挨拶

1 はじめに

本校舎と遠野校舎の生徒・教職員が、さはこの丘に一堂に会し、いわき湯本高校として最初の一年を閉じる、3学期終業式を開くことができ、万感の思いであり、胸を熱くしています。



2 校歌について

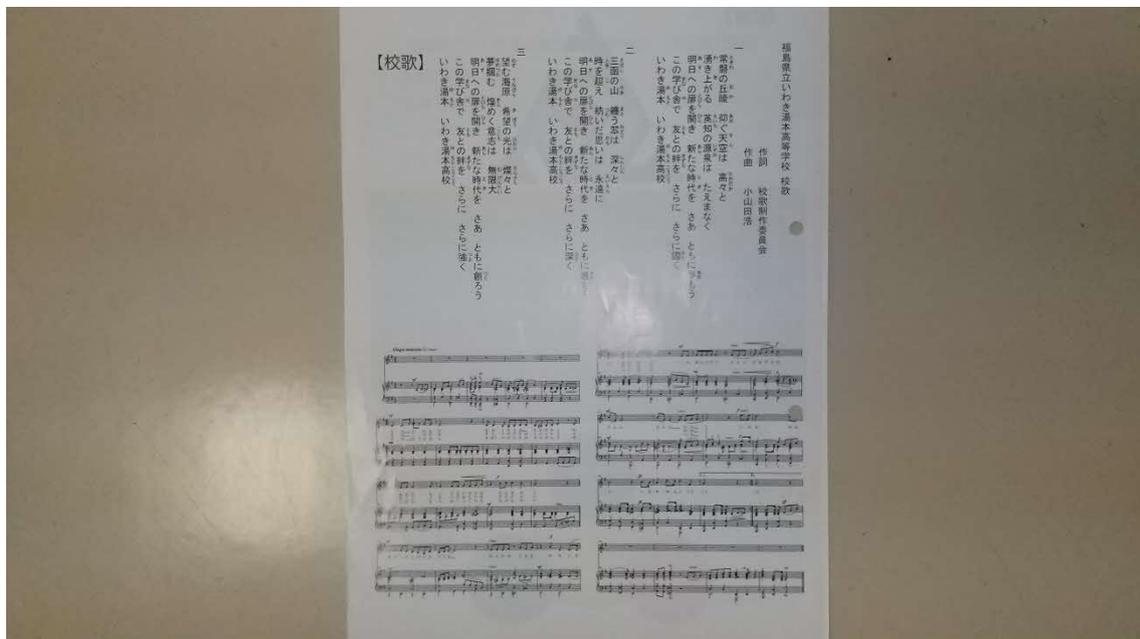
まずは、今、私たちが歌った校歌について話しましょう。

いわき湯本高校の校歌は、校歌に入れたい言葉を湯本高校と遠野高校の生徒から募り、両校の国語科の先生がおよそ一年かけて練り上げてつくられました。

「湧き上がる 英知の源泉（いずみ）は たえまなく」は、温泉の恵みが満ちる湯本を表しています。

「三函（さはこ）の山 纏（まと）う翠（みどり）は 深々と」は、自然豊かな遠野の魅力を表しております。

「夢掴（つか）む 煌（きら）めく意志（こころ）は 無限大」は、いわき湯高生の限りない輝く未来を表しているのではないのでしょうか。



3 校章について

次に、校章を取り上げましょう。

周りの「上」三つは、上遠野の「上」、入遠野の「入」、田人の「人」を表しています。これは、遠野高校が、これら三つの地区の熱い思いによってつくられた高校であることを踏まえています。また、湯本高校、すなわち、YUMOTOの「Y」も表しています。

校章には、新しい学校の思いも込められています。校章のまん中には、いわき湯本高校の「Y」があり、この形は羽ばたく羽、若葉の芽吹きをイメージしています。つまり、いわき湯本高校の生徒が輝く未来に向かって羽ばたいて欲しい、成長して欲しいという思いが、校章に込められています。

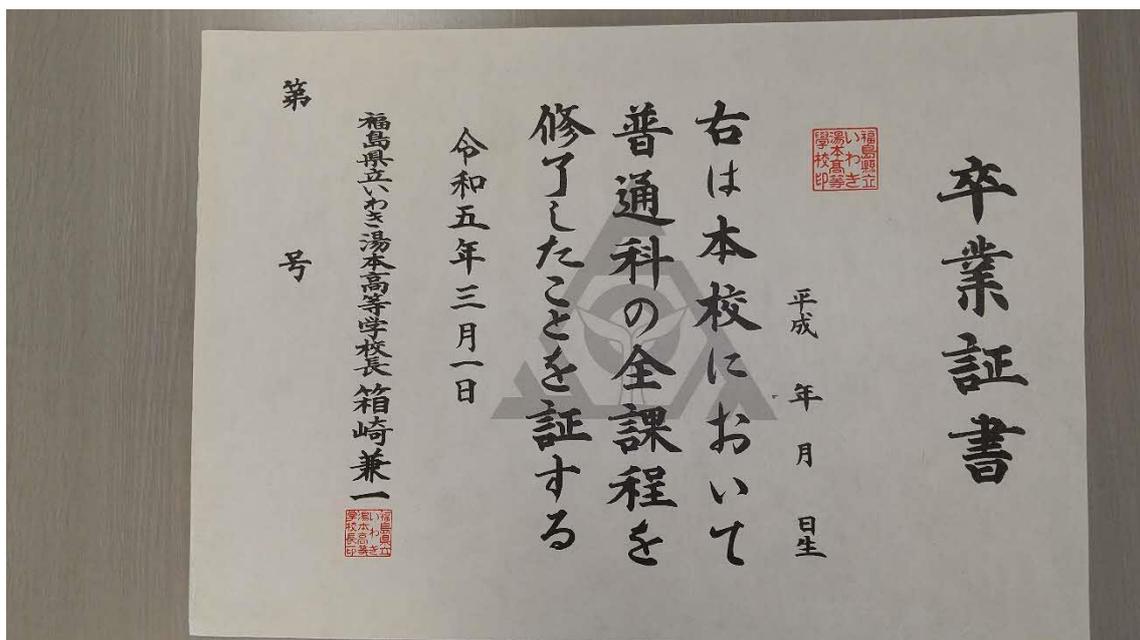


4 卒業証書について

去る三月一日に、いわき湯本高校として最初の卒業生に授与された卒業証書はどうでしょうか。

卒業証書には、校章が印刷されています。これは、湯本高校の卒業証書の伝統を引き継いでいます。また、卒業証書は遠野和紙でできています。これは、遠野高校の卒業証書の伝統を引き継いでいます。

地元の遠野和紙でできており、校章が印刷されている卒業証書は、いわき湯本高校ならではのものです。



5 校歌、校章、卒業証書に込められた願い

校歌、校章、卒業証書に込められた願いとは何でしょうか。

それは、湯本高校と遠野高校の良き伝統を引き継いだ、いわき湯本高校という新しい学校づくりを通して、新しい自分を磨き上げ、輝く未来に向かって力強く飛び立って欲しいという願いです。



6 7つの言葉

校歌、校章、卒業証書に込められた願いを踏まえ、いわき湯本高校として最初の一年、校長として繰り返し述べてきた言葉を確認しましょう。

- (1) 湯本高校と遠野高校の伝統・実績や熱い思いを継承し、湯の岳の気高き姿をともに仰ぎ見る、さはこの丘（本校舎）とあかさかの丘（遠野校舎）から、いわき湯本高校という「新しい風」を吹かせよう。
- (2) 「空気の教育」（校風）を大切にしよう。
- (3) 「ありがとう」と言える・言ってもらえる生徒になろう。
- (4) 校訓「自立」「友愛」「創造」という三つの資質・能力を身につけよう。
- (5) 地域を愛し、地域に愛される生徒になろう。
- (6) 新しい「学校づくり」は、新しい「自分づくり」。
- (7) 地域を学びのフィールドに、授業・勉強を大切にして、学力向上を図るとともに、部活動・委員会活動や学校行事などで青春の汗を流し、人間性を磨き、進路実現を図ろう。



7 最初の一年

では、いわき湯本高校として最初の一年はどうだったのでしょうか。

(1) 部・委員会等

水泳部、吹奏楽部、写真部、家庭クラブ、ヨット競技が全国大会出場、陸上競技部、剣道部、サッカー部、テニス部が東北大会出場を果たしました。

県大会では、運動部、文化部とも大いに活躍し、その頑張りは地域も大いに盛り上げました。また、委員会等についても、校内外の活動で頑張りを見せました。



(2) 学校行事等

学校行事等については、感染症対策との両立を図るという方針のもと、文化祭「湯ノ泉祭」や球技大会については内容変更や規模縮小等をしながら実施し、修学旅行や遠足などについては予定通り実施することができました。



(3) 友愛の心

本校舎と遠野校舎の仲間が友愛の心を持ち、力を合わせながら、サッカー部や合唱部などが大会やコンクール等で活躍し、生徒会も本校舎で開かれた文化祭「湯ノ泉祭」において震災学習による交流活動を発表しました。



(4) 地域に愛される学校

部・委員会等は、地域に愛される学校として、地域のイベントに積極的に出演するだけでなく、運営ボランティアとして参加するなど、地域に貢献する活動もしっかり取り組みました。



(5) 学力向上・進路実現

学力向上・進路実現については、三年生が、資格取得も含め、日々の授業を中心に、地域を学びのフィールドとした探究学習、課外や模試、面接・作文指導、出前講座などにしっかり取り組み、進学・就職という、それぞれの進路実現に向けて、着実に努力を重ねました。目標実現に向けて頑張っている姿、一つ一つ栄冠を手にしていく姿、進路実現に向けた情熱の炎は、先輩から後輩のハートに受け継がれたと信じています。



(6) 新しい学校の歩み・伝統

以上のおり、いわき湯本高校としての最初の一年、生徒一人ひとりが勉強を大切に、部・委員会や学校行事等に青春の汗を流し、人間性を磨き、よく頑張りました。生徒一人ひとりの頑張り・奮闘努力、青春の汗と涙が、いわき湯本高校という新しい学校の歩み・伝統をつくりました。



8 新しい風

今、いわき湯本高校という「新しい風」が吹いているのを感じます。これからも「新しい風」をさわやかに吹かせたい。

来月からは、いわき湯本高校2年目が始まります。

生徒一人ひとりの頑張りが新しい歴史をつくれます。

来年3月には、湯本高校に入学した最後の生徒と、遠野高校入学した最後の生徒が、いわき湯本高校第2期生として卒業します。

来年3月末に遠野校舎を閉じることとなり、あかさかの丘の思いは、さはこの丘に引き継がれていきます。

青春を精一杯生きる生徒一人ひとりの奮闘努力、教職員の愛情たっぷりの指導・支援がある限り、いわき湯本高校という「新しい風」はさわやかに、どこまでも吹き続けることでしょう。



9 むすび

いわき湯本高校として最初の一年、よく頑張った。ありがとう。

二年目も頑張ろう。

輝く未来に向かって、頑張れいわき湯高生。





↑ 17年ぶりの全日本アンサンブルコンテスト金賞受賞（吹奏楽部）



↑ 開校式から一年。時の流れは早いもの・・・

